

与謝の海病院NEWS

平成24年1月
Vol.128

～ 患者が中心の、地域に開かれた病院 ～

京都府立与謝の海病院
〒629-2261
京都府与謝郡与謝野町字男山481
電話/FAX 0772-46-3371 (代表)
http://www.pref.kyoto.jp/yosanoumiho/
●発行責任者：才本事務部長



2012年 あけましておめでとうございます

京都府立与謝の海病院

院長 せき もと たつ ゆき
関 本 達 之



京都府立与謝の海病院は、結核療養所として1953年に開設されましたが、その後結核患者は劇的に減少し、結核療養所として存続させることが困難になったため、一般診療を行うべく1961年に療養所から京都府立与謝の海病院と改称され、診療を続けてまいりました。昨年は、与謝の海病院となって50年という節目の年を迎えました。その節目の年に、CTとMRIを最新鋭の機器に更新することができました。今年、これらの医療機器を地域の皆さまに十分にご活用いただけるように、医療機関連携等を今まで以上に密にしていきたいと思っております。今年3月に更新予定の当院の電子カルテシステムは、地域の医療機関におきましてもその一部の機能を利用いただけるように準備を進めております。また医学の進歩等により十分な成果を上げることができなくなりつつある医療機器等につきましても、順次更新を計画し、より高度で安全な医療を提供できるように努めてまいりたいと思っております。

さらには、高齢核家族化、高齢者独居、老老介護など丹後地域が抱える問題に向き合い、地域の医療機関、福祉介護施設、行政機関と協力し合って、地域の皆さまが必要とする医療を提供すべく尽力したいと思っております。

どうか今年もよろしくお願いたします。

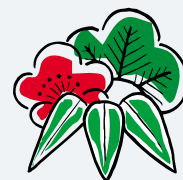
ドクターヘリの運航状況

平成22年4月より公立豊岡病院但馬救急救命センターを基地病院に京都府北部、兵庫県北部及び鳥取県東部を範囲に運航しています。現場から病院への搬送や病院間の搬送に使用されています。平成23年4月～11月の京都府における出動件数は175件で月20件余りの出動をしています。



【第128号の内容】

- 1 ページ ●院長の年頭あいさつ
- 2 ページ ●ナースのお仕事2 一岡崎 信子 看護師長一 ●医大G P
- 3 ページ ●DMAT活動状況
- 4 ページ ●MRI更新 ●QCサークル
- 5 ページ ●診察室 一外科一 ●診療科 一神経内科一
- 6 ページ ●外来各科診察担当医表 ●医師異動情報 ●50周年記念特別講演会 ●一口レシピ



ナースのお仕事 2

— 岡崎 信子 看護師長 —



今回は外来看護師長をしている岡崎師長をご紹介します。

〔おかざき のぶこ：昭和61年4月から当院勤務、外来師長は平成22年4月から〕

質問1. 看護師になろうと思ったきっかけは？

岡崎：私が幼い頃、母が肺炎で与謝の海病院に入院していました。その頃から「看護師になりたい」と夢を持ち、その夢が変わることなく看護師を目指し母親のお世話になった病院で働くことになりました。

質問2. 看護師になって感じた印象深いことは？

岡崎：看護師をしていてよかったと感じた事は、患者さんからの「ありがとう」の言葉です。「今日は来てくれてありがとう！会えて良かった。」と言われると仕事へのエネルギーが生まれてきます。長い人生の中で、その時会った人との関わりは一瞬にすぎないですが、患者さんと交わした会話が今でも心に残っていて、私の財産の1つになっています。

質問3. あなたのナースのお仕事を教えてください

岡崎：昨年より業務委員会と接遇環境改善小委員会の委員として活動しています。接遇環境改善小委員会では今年6年目になる※QCサークルを実施し、業務の改善・取り組みの働きかけをしています。

質問4. 看護師として今1番感じることは何ですか？

岡崎：「患者さんからの学び・喜びを大切にする」 私達看護師も人間であり、たまには失敗だってあるはずですが、そんな失敗こそが大きな学びであり、新しい自分づくりのチャンスだと思います。失敗からの学び、成功からの学び、様々な学びを成長の糧に、そんな風に過ごしながら看護の大切さを感じています。



救急室（外来）にて



外来スタッフの朝礼



※QCサークル発表の様子

※QCサークル…病院のサービス向上を目的に業務改善提案などを行う取り組みです。毎年1回サークルでの取り組み成果を発表しています。今年は病院周辺の店舗マップづくりなど、13のサークルが成果発表を行いました。

地域医療を体験しました

9月5日(月)～9月9日(金)に京都府立医科大学の医学科19名、看護学科7名、計26名の学生がチーム医療や、地域医療の現場を体験しました。学生は当院をはじめ、5つの診療所、3つの訪問看護ステーション、4つの介護施設、宮津与謝消防署にご協力いただき、実習をさせていただきました。由良地区での住民懇談会では、地域の方々との交流を深め、地域医療について意見交換を行いました。また、今年より、丹後地域の魅力を分かって貰えるよう、地域見学を行い、丹後の魅力を味わってもらいました。



訪問看護ステーションさくら



山根医院



住民懇談会



地域見学



虹ヶ丘

与謝の海病院DMAT

当院では災害派遣医療チームとして10名（医師3名、看護師5名、調整員2名）が定期的に訓練等に参加し非常時に備えています。3月11日の東日本大震災における発災初期の医療対応でも※DMATの重要性が再認識されている中、メンバー一同、日常の訓練の重要性について再確認しました。以下の訓練に与謝の海病院DMATが各1隊、参加しました。

近畿2府7県合同防災訓練

参加訓練：洋上※SCU・洋上救護所運営訓練
日 程：平成23年10月29日(土)、30日(日)
場 所：海上自衛隊補給艦「おうみ」（停泊場所：徳島県小松島港）
参 加：近畿管内の病院DMAT20チーム、近畿2府7県、海上自衛隊ほか
内 容：想定負傷者約70名



救護所でのトリアージの様子



負傷者を艦内の救護所へ運びます



補給艦おうみに負傷者をヘリ搬送



参加したメンバーと補給艦「おうみ」

京都府緊急災害医療チーム等訓練

日 程：平成23年11月12日(土)、13日(日)
場 所：公立山城病院、京都府立消防学校ほか
参 加：府内の病院DMAT 6 チーム、京都府、京都府警本部、近隣の消防本部ほか
内 容：想定負傷者約25名



SCU広域搬送医療拠点施設訓練



がれきの下の負傷者救出訓練



参加メンバー

集団救急初期対応訓練

日 程：平成23年11月30日(水)
場 所：岩滝あじさい苑
参 加：社会福祉法人与謝郡福祉会
与謝医師会、与謝野町
宮津与謝消防組合消防本部
京都府立与謝の海病院DMATほか
内 容：想定負傷者約10名



がれきの下を想定した訓練で負傷者の応急処置をしています。



救助された負傷者をトリアージし、応急処置、搬送準備をしています。

※DMAT (Disaster Medical Assistance Teamの略)→国や都道府県の指示により大規模な災害などの急性期に活動できる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チームで、広域医療搬送・病院支援・域内搬送・現場活動等を主な活動とします。公立系の病院には設置されているケースが多く、阪神・淡路大震災以降これまでに全国で約800 チーム以上が厚生労働省の研修により養成されています。

※SCU (Staging Care Unitの略)→災害時に傷病者を広域的に搬送する際の搬送拠点臨時医療施設。